

自己評価票

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                |
|------------------------------|--|---|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |  |   |   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |  |   |   |
| 1                            | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている   | 地域の人達と共に行事参加、交流がスムーズに出来、認知症に対する理解を深めていきたい。                            |   |
| 2                            | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる  | 管理者は職員と共に理念の内容を理解できるように日々ミーティングを続けている。                                |   |
| 3                            | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる  | 町内会、近隣の方へと声かけをしておりますが、浸透までは行っていません。                                   |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |  |   |   |
| 4                            | ○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 町内の方々にはまだ施設の理解がされておらず、町内会の入会の申込をしている所です。会議には町内区長、民生委員の方の参加をさせて頂いています。 | ○<br><br>行事、施設への見学により認知症への理解を深め、ボランティアしていただける様に交流の場へと広げていきたい。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |  |   |   |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|-----|--|---|------------------------|---------------------------------------|
| 5   | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる  | 自己評価や外部評価は管理者やケアマネだけでなく職員全員で周知し、取り組んでいく。                      |                        |                                       |
| 6   | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている  | 会議では報告や情報交換を行う他に出席された皆様から意見を引き出し、それを今後の取り組みの参考にして行きたい。        |                        |                                       |
| 7   | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 解らないことがあると相談に乗ってもらったり、アドバイスを受けられる唯一の機関です。                     |                        |                                       |
| 8   | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している  | この度初めて利用された方が入居され、身近に感じるようになりました。                             | ○                      | 全職員で勉強し、理解を深めて行きたい。                   |
| 9   | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている  | 虐待にも身体、言葉、心的とあると思いますが、当ホームでもそれらしい事があり、全職員で周知し完全になくす方向で話し合われた。 | ○                      | 虐待防止関連法、防止策の検討、内容を良く知り間違いのないケアに努めて行く。 |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|--------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |   |                                |
| 10                     | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | なるべく二人で説明をし、納得の行くまで話し合い、理解に努める。                                       |                                |
| 11                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 利用者の話を良く聞いてあげる。<br><br>本人の悩み事を少しでも軽減できるように共に行動できるように努める。              |                                |
| 12                     | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている         | 利用者の不穏な点、受診、健康に変化があればすぐに連絡を取り、報告するようにしている。                            |                                |
| 13                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 家族様が意見や要望などを話やすい雰囲気作りを行っている。又、苦情等を日々のケアサービスに反映した取り組みを行っている。           |                                |
| 14                     | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | 運営方針や意見を職員からも聞きながら反映している。   |                                |
| 15                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 夜間にケアが必要な利用者には直ぐ対応できる体制を取っている。<br><br>職員の急な休み等には代わりの人員の配置が出来るようにしている。 | ○ 対応の出来る柔軟な体制の見直しをしている。        |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|--------------------------------|
| 16 ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 担当職員の異動や配置換えには新しく担当する職員に詳細に引き継ぎを行っている。                         |                        |                                |
| <b>5. 人材の育成と支援</b>  |  |                        |                                |
| 17 ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 職員は個々の力量や経験に応じた研修を受講している。<br><br>研修後はミーティングで発表したりして全職員で周知している。 |                        |                                |
| 18 ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 役場の配慮により同業者との交流、連携を通じて職員育成につなげる取り組みを行っている。                     | ○                      | 他施設職員との飲食をしながらの交流会を行っている。      |
| 19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 職員の意見や悩み事を少しでも聞いてあげたいと思ひ、少人数による食事会を設けている。                      |                        |                                |
| 20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                           | 希望資格が取得できるように気配りし、職員のやりがいや向上心が持てる体制を整えてあげる。                    |                        |                                |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                |
| 21                               | ○初期に築く本人、家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 利用希望者や家族様との面談には希望ニーズを把握し、信頼関係を築くことを意識しながら対応を行っている。    |                                |
| 22                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている               | 対応できることについては柔軟に実行し、すぐに対応できないことに対しては密接に相談しながら進めていく。    |                                |
| 23                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している    | 利用者家族様など、双方の意向にそったサービス開始となるように充分話し合いをし、調整して行く。        | ○ 施設見学の実施、体験を試みる。              |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                |
| 24                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている       | 利用者には好きなこと、得意分野で気持ちを落ち着いてもらい、職員も共感、行動しながら良い関係作りに行きたい。 | ○ 利用者の得意分野を引き出してあげ、共感、理解に努める。  |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)     |
|-----|--|---|------------------------|------------------------------------|
| 25  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 利用者の様子を家族と情報交換し、家族の思いや気づきを共有し、利用者のより良い介護の方向付けにして行きたい。     | ○                      | 常に情報交換を密にし、利用者のやる気、変化を気づき支援して行きたい。 |
| 26  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 家族様との関係が途切れないよう日々の利用者の様子を面会時や電話で伝えたり、ホームを訪ねやすいように働きかけている。 |                        |                                    |
| 27  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 利用者がこれまで関わってきた友人、知人を大事にし、交流を継続できるよう支援している。                |                        |                                    |
| 28  | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 職員は利用者同士が共に助け合って、仲の良い、悪いを把握し、孤立しないように配慮している。              | ○                      | 利用者同士の性格、個性を良く把握し、支えあって行きたい。       |
| 29  | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | サービス終了後も家族様の相談に応じる等、支援を怠らないようにしている。                       |                        |                                    |

| 項 目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |   |
|---------------------------------------|---|--|--------------------------------|---|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                |   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                |   |
| 30                                    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 職員は利用者の思いや希望、意向を把握するよう努めている。十分に把握できない場合は家族や関係者などに聞いている。          | ○                              | 利用者の思い、希望を聞かれると八割の人は帰宅願望が強く、時には職員が自宅まで送迎してあげることもある。 |
| 31                                    | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 利用者のプライバシーに配慮しながら利用者を良く知る知人、兄弟等に情報収集をし、本人が暮らしやすいように心配りをしている。     |                                |   |
| 32                                    | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 利用者の日々を暮らしの中の生活リズムをとらえ、日々の体調変化に気づけるように把握している。                    |                                |   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                |   |
| 33                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 介護計画作成は全職員の意見や気づきをもとに、職員間で充分話し合い、作成し、利用者が個々の生活を重点に生活できるよう介助している。 | ○                              | 暮らし続けてきた習慣、趣味を引き出してあげ、少しでも出来ることを続けて行けるよう援助してあげる。    |
| 34                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 実施期間に関わらず利用者の身体状況の変化や、利用者や家族等の希望に随時の見直しを行っている。                   | ○                              | 臨機応変に対応できる介護計画を作成している。                              |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)               |
|------------------------------------|--|--|------------------------|---|
| 35                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 日々のケアの実践状況や身体状況を記録し、全職員が共有するようにしている。     |                        |   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |   |
| 36                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 多機能性の支援はまだ行っていない。                        |                        |   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |   |
| 37                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | ボランティアのご協力を得て、踊りや歌、幼稚園の子供たちとの交流も図っている。   | ○                      | 地域住民、前利用者ご家族様の方々のご協力、ご理解を頂き、認知症ケアの取り組みを計っている。 |
| 38                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 必要に応じて理美容サービスの利用又、希望の所へは車で送迎している。        | ○                      | 利用者の希望により他サービスの出来るよう送迎している。                   |
| 39                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | このたび初めて権利擁護制度の利用者があり、包括支援センターとの協働を計っている。 |                        |   |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|-----|--|------------------------|--|
| 40  | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   | ○                      | <p>利用者の体調急変時は即受診され、家族にも連絡できる体制は整えてある。</p>              |
| 41  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                        |  |
| 42  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | ○                      | <p>利用者の体調の変化は看護職員に伝え、相談しながら支援している。</p>                 |
| 43  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                        |  |
| 44  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | ○                      | <p>急変があった場合は、常に主治医に連絡を取り、往診してもらえるよう家族との意見統一を図っている。</p> |
| 45  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                        |  |

| 項 目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)     |
|-------------------------------------|--|---|------------------------|------------------------------------|
| 46                                  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ダメージの最小限となるよう詳細な情報提供を提示し、プライバシーにも気をつけている。 |                        |                                    |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |  |   |                        |                                    |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |  |   |                        |                                    |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |  |   |                        |                                    |
| 47                                  | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 利用者の意向に配慮し、介助時声がけは羞恥心にも配慮している。            | ○                      | 職員は利用者の情報を他言しないよう気を配っている。          |
| 48                                  | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 利用者の希望や関心、好みの食物を把握し、なるべく叶えてあげるように努める。     |                        |                                    |
| 49                                  | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                        | 利用者1人1人のペース、精神状況に合わせて柔軟な支援を行っている。         | ○                      | 一人ひとりのの体調、ペースを見ながらお手伝い、散歩の誘導をしている。 |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |  |   |                        |                                    |
| 50                                  | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 理美容はその人の希望の店に行けるよう送迎している。                 |                        |                                    |

| 項 目                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                               |
|-------------------------------------|---|------------------------|---|
| 51                                  | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | ○                      | <p>季節の物を献立に取り入れ、山菜等は良く知っていて楽しみながら手伝ってくれる。</p>                 |
| 52                                  | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>              |                        |   |
| 53                                  | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>          |                        |   |
| 54                                  | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>           | ○                      | <p>安全で負担にならない入浴支援をし、職員とのコミュニケーションの時間でもあるので、ゆっくり楽しみながらの入浴。</p> |
| 55                                  | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                       |                        |   |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |                        |   |
| 56                                  | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>    | ○                      | <p>食器拭き、趣味の作り物、野菜の収穫の手伝いもしてくれる人もいます。</p>                      |

| 項 目                   |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)               | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)             |
|-----------------------|---|---|------------------------|--|
| 57                    | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | 利用者の力量、希望により家族と相談しながら金銭管理を行えるように支援している。       |                        |  |
| 58                    | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 外出先には利用者の希望や気分転換等につながるよう声がけ、機会を作っている。         | ○                      | 自宅へ郵便物の確保、近くの公園の散歩、畑の見回り、季節に合わせた外出を心掛けている。 |
| 59                    | ○普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 体調精神状態を考えながら働きかけている。                          |                        |  |
| 60                    | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 利用者が電話をかけてほしいとか、家族知人からかかってくる電話には、その利用を支援している。 |                        |  |
| 61                    | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会時間は決められていますが、身内の方の面会は随時行っている。               |                        |  |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |   |   |                        |  |
| 62                    | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアを取り入れています。                          |                        |  |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|---------------------------------|
| 63  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     |                        |                                 |
| 64  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                        |                                 |
| 65  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |                                 |
| 66  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                        |                                 |
| 67  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                        |                                 |
| 68  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |                        |                                 |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|--------------------------------|
| 69<br>○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 起こり得るリスクや対応について、利用者の状況変化に応じて適切に出来るように話し合いをしている。                                    |                        |                                |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>  |  |                        |                                |
| 70<br>○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | 利用者の異変の兆候を見落とさないようにする。異変があった場合は全職員に注意を払うよう徹底している。又、記録に残し全職員で共有している。                |                        |                                |
| 71<br>○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | 飲み忘れや誤薬等がないよう支援体制を整えている。<br><br>薬の変更時は速やかに全職員に周知する。                                |                        |                                |
| 72<br>○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる        | 一日の食事や排泄、活動状況等を見極め、自然排便を促す。<br><br>下剤はよく観察しながら個々に合った使用量を把握している。                    |                        |                                |
| 73<br>○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                  | 毎食後に声かけをして口腔内の洗浄を行っている。又、入れ歯は夜殺菌液に浸けるよううながしている。                                    |                        |                                |
| 74<br>○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている     | 栄養バランスに配慮した献立となっている。医療機関からの指示のある利用者には水分量を記録している。<br><br>栄養士の方からの献立指導や助言を得ながら行っている。 |                        |                                |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|--------------------------------|
| 75                             | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症の予防、早期発見対応マニュアルが作成されている。<br>マニュアルは必要に応じて見直しを行っている。                    |                        |                                |
| 76                             | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 食材は毎日その場へ買出しに行っている。<br>台所や調理器具の清潔を保持するよう職員に周知している。                       |                        |                                |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |                                |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |                                |
| 77                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 特別な工夫はしていません。  |                        |                                |
| 78                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日光も良く当り、室内も広く明るい空間と居室がある。<br>室内からは自然が良く眺められ、四季が常に感じられます。欄干もあり風通しもよくしてある。 |                        |                                |
| 79                             | ○共用空間における居場所づくり<br>共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 入居者同士が団欒できるスペースが確保され、畳の場所では寝そべったりコミュニケーションの場として好まれている。                   |                        |                                |

| 項 目                           |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------------------------|--------------------------------|
| 80                            | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 愛用のもの等や本人が大切に思っている物があれば家族に持ってきてもらうよう働きかけている。                                       |                        |                                |
| 81                            | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 事業所内に湿温度計、加湿器を設置し適切な湿湿度管理を行っている。   |                        |                                |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |  |                        |                                |
| 82                            | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 利用者の安全を考慮し、要所に手摺等の用具を設置している。<br><br>状態の維持、移動のため車椅子が用意してある。                         |                        |                                |
| 83                            | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 利用者の場所間違いを防ぐ為に利用者一人ひとりの状態を把握し、目印の配慮の見極めを個々に合わせて表示をつける等の取り組みを行っている。                 |                        |                                |
| 84                            | ○建物の活用<br><br>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている   | 庭に花を植え、玄関先に鉢を置き、憩い、利用者同士のその人らしく過ごせるように敷地内を回ったり活用している。又、畑で園芸をし、職員とのコミュニケーションを計っている。 |                        |                                |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
| 85               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 86               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 87               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 88               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 89               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 90               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 93               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|-----|---|---|
| 94  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 95  | 職員は、生き活きと働けている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 96  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 97  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

年々利用者の重度化が進み、益々手のかかる人が多くなり、要介護5の人も2名になりました。  
ここで終末期を迎えたいとご本人、ご家族様の希望であり、延命措置も望まない、口から食事がとれる期間が少しでも長く続けられるようにと祈るばかりです。医療機関との連携を密にしながらのケアが続いています。  
職員も初めてのターミナルケアに向けて支援に真剣に向き合っています。